

広島大学短期交換留学 (HUSA) プログラム 派遣留学報告書

	記入日 平成 25年 9月 10日			
所属学部・研究科	文学部 3年次 (留学開始時点)			
留学先大学	オスナブリュック大学 (国名: ドイツ)			
所属学部・学科等名	ドイツ文学語学			
在籍身分	交換留学生			
留学期間	平成 24年 10月 1日～平成 25年 7月 13日			
<b>1. 渡航について</b>				
ビザについて	ビザの種類: 滞在許可証 (Aufenthaltstitel)			
	ビザ申請先: 外国人局 (オスナブリュック)			
	取得方法, 提出書類: 役場の外国人局で以下の書類を提出、100ユーロを支払 <ul style="list-style-type: none"> <li>・パスポートのコピー</li> <li>・保険加入証明書のコピー</li> <li>・学籍証明書</li> <li>・入学許可証のコピー</li> <li>・証明写真</li> <li>・奨学金の受給期間、受給額を証明する書類</li> </ul>			
	手続きに要した日数: 約2週間			
その他必要な事前手続き				
出国年月日	平成 24年 9月 29日			
経路	羽田→フランクフルト→ミュンスター			
現地での出迎え	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (・大学関係者) <input type="checkbox"/> 無			
到着後オリエンテーションの実施状況・期間・内容	10月2日 - 5日、10日 2日・学籍証明書などの配布・市内案内 3日・留学生向けのドイツ語授業のクラス振り分けテスト 4日・健康保険加入手続き・銀行口座開設 5日・学生寮に関する書類記入・学生生活ガイダンス 10日・滞在許可手続き			
帰国年月日	平成 25年 8月 9日			
経路	ミュンスター→フランクフルト→成田			
<b>2. 留学経費について</b>				
所要経費	総額	699,150	円	
	内訳	渡航費	230,000	円
		保険料	171,050	円
		教科書代(学費)	44,500	円
		宿舍費	177,600	円
		食費	60,000	円

	その他 ( 通信 費)	16,000	円
	( 費)		円
	( 費)		円
<b>3. 授業について</b>			
2012年 冬 学期	10月 8日 ~	2月 1日	
2013年 夏 学期	4月 8日 ~	7月 13日	
年 学期	月 日 ~	月 日	
年 学期	月 日 ~	月 日	
授業の概要について (カリキュラム, プログラム等)	・留学生向けの習熟度別ドイツ語・文学入門 ・社会制度比較・地理入門		
単位互換希望の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 ※有の場合, 所属学部支援室へ提出の単位認定申請書類のコピーを添付すること		
学術面に関する後輩へのアドバイス	最初の学期は耳を慣らすために聴講のみの授業を取るのも良い。		
<b>4. 生活等について</b>			
(1) 留学先の住居について			
住居の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 大学の寮 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> その他 ( )		
住居の広さ	約 13 m <sup>2</sup>	同居人の有無	<input type="checkbox"/> 有 ( 人) <input checked="" type="checkbox"/> 無
住居に附属する設備	<input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input checked="" type="checkbox"/> ガス <input checked="" type="checkbox"/> 水道 <input checked="" type="checkbox"/> 給湯 <input checked="" type="checkbox"/> シャワー <input type="checkbox"/> 風呂 <input checked="" type="checkbox"/> 水洗便所 <input checked="" type="checkbox"/> 暖房 <input type="checkbox"/> 冷房 <input checked="" type="checkbox"/> 台所 <input type="checkbox"/> 食堂 <input type="checkbox"/> 固定電話 <input checked="" type="checkbox"/> インターネット <input type="checkbox"/> その他 ( )		
住居費	1ヶ月当たり	148 ユーロ(現地通貨)	約 17,760 円
住居を決定した方法	<input checked="" type="checkbox"/> 留学先大学の紹介 <input type="checkbox"/> 友人・知人の紹介 <input type="checkbox"/> 不動産業者 <input type="checkbox"/> その他 ( )		
留学先での住居全般に関するアドバイス	事前の説明だけでは分からなかった事があった時や管理者の対応が不親切な時は、寮の住人に話すと解決する場合もある。		
(2) 医療について			
1日以上入院を要する 病気・怪我等を	<input type="checkbox"/> した <input checked="" type="checkbox"/> しなかった		
入院した場合	により 日入院		
留学に当たり保険を	<input checked="" type="checkbox"/> 掛けた <input type="checkbox"/> 掛けなかった		
掛けた場合	<input checked="" type="checkbox"/> 日本 <input type="checkbox"/> 留学先国 <input type="checkbox"/> その他 ( )		
掛け金は	年間	148,050 円	
	補償額 死亡	10,000,000 円, 入院1日	円
	その他 ( )		
留学前後での予防接種の必要の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
有の場合, その種類, 回数, 費用, 受けた医療機関名			

日常的な健康について 不安が	<input type="checkbox"/> あった <input checked="" type="checkbox"/> なかった あった場合その理由：	
留学先国の医療事情 (日本と比較して)	技術や制度に関して日本と大きな差は無いと思うが、他の留学生が病院に行った際に、外来患者が多くて手が回らないから他の病院を訪ねて欲しい、と電話帳を渡されたと聞いたので、対応が不親切だと感じた。	
留学先での健康管理、衛生面について特に注意すべきこと	渡航前にドイツの水道水は硬水だから日本人の体質・味覚に合わない場合があると聞いた。滞在地の水道水は問題なく飲めたと衛生面の問題は無いと思うが、体質に合わない場合も一応考えておいた方が良い。	
(3) 危険を感じた地域, 状況		
特別危険を感じた状況は無し。人の多い場で念のためにスリを警戒した程度。		
(4) その他生活等に関して参考となる事項		
日本と違い日曜祝日は殆どの会社や店が閉まり公共交通機関も本数が極端に少なくなる。特に祝日は日本と違うので事前によく把握しておく必要がある。		
<b>5. 帰国後の進路について</b>		
卒業予定年月	平成 26年 9月	(当初の卒業予定年月 平成 26年 3月)
卒業が遅れる見込みの場合、その理由	<input type="checkbox"/> 4年次に留学したため <input type="checkbox"/> 単位不足のため <input checked="" type="checkbox"/> 新卒で卒業するため <input type="checkbox"/> その他(具体的に )	
現在の状況および今後の予定・進路等	4年次後期を休学し、就職活動をしながらい年の前期を終えて卒業予定。	
就職活動や留学前の単位取得、教育実習等についての工夫	留学前に卒業に必要な単位は粗方取っておく。	
<b>6. 留学準備, 留学中に役立つ書籍, ウェブサイト等</b>		
書籍, サイト名	詳細(出版社, URL等)	コメント
<b>7. 自由記述(後輩へのアドバイス等)</b>		
多くの人が留学は初めての経験だろうから、準備など分からないことがあれば身近な留学経験者に質問し、居なければHUSAの説明会などの機会を活用して経験者と話すが良い。		

## 学習の概要に関するレポート

2012年度後期は留学生向けの習熟度別のドイツ語の授業と文学入門の授業を受けた。

習熟度別の授業はB1レベルのクラスである。週4回の授業が連動して行われた。授業は会話が主体で、軽い日常会話から各生徒の国の政治や国交の話題まで幅広く扱われ、文法についても扱われた。テストは聞き取り、文法、独作文を含む筆記試験と、三人一組でグラフの説明や予定の相談をする口頭試験が行われた。

文学入門は講義形式で、小説や戯曲よりも詩を主に扱った。この授業は耳慣らしの意味もあって登録をせずに聴講という形で参加をした。校舎が市内に点在していることもあって、後期は移動時間との兼ね合いで参加を諦めた授業もあった。

2013年度前期は習熟度別のドイツ語の授業と社会制度比較、地理の授業を受けた。

習熟度別の授業は1つ上のA2レベルである。こちらは週3回の授業が連動して行われた。B1の授業と同じく会話が主体だが、レベルが少し上がっている。テストも同じく聞き取りや独作文を含む筆記試験と、二人一組の口頭試験である。

社会制度比較の授業は留学生向けの授業で、ドイツの福祉や地方自治などを学生それぞれの国の現状と比較しながら学ぶ授業である。1つのテーマを1、2回の授業で扱い、学生の積極的な発言が求められた。授業の始めには学生が二人一組で発表を行った。学生の組み合わせは出身の違う者が組になるよう教師が指名し、当てられた次の授業で発表となる。発表テーマは学生の自由だが、内容はドイツとそれぞれの国の状況に触れる形になる。評価は発表と筆記試験で成された。

地理の授業はドイツ各地の地形や気候についての入門的な内容だった。専門分野ではないが講義形式の入門的な授業なので比較的取り組みやすく、興味もあったので聴講という形で参加をした。

大学自体は理系分野、特に認知科学の研究が盛んな所らしく、文学分野を学ぶには物足りない所はあった。しかし留学生向けの授業の中には直接関係は無くとも興味深い授業や、ドイツへの理解を深めるのに役立つ授業があったので、参加した意味は十分にあったと言える。今回の留学では専門分野以外の分野に広く目を向ける機会を得る事が出来た。この機会を得た知識を専門分野に生かし、自分の研究に役立てて行きたい。

## 生活の概要に関するレポート

留学先の住居は大学の寮で、各部屋は全て一人部屋だが、台所やバスルームはおよそ15人で共用である。1棟が4区画に分かれており、それぞれで約15人ずつが生活をする。台所の掃除やゴミ捨てなどは住人が当番を決めて行うようになっているが、廊下やバスルームなどは清掃業者が行う。

食料品は日本よりも割安なものが多く、自炊をする分には困らない。調理器具類は共用の物が揃っているので自分で準備する必要も殆ど無かった。

寮の個室ではインターネットが使えるが、寮内のネットワーク管理チームの面会時間に個人で申請しに行かなければ使う事が出来ない。これについては事前の説明が無く、入寮後に寮内の掲示で知らされたので困った。また仕組みが特殊で使える通信量が制限されており、OSの自動更新で一度に大量のデータ通信を行ったため、不意に1週間インターネットが使えなくなったこともあった。寮内の他の学生に聞くと、個人でインターネットの契約をして寮の回線は使わない人も少なくないので、結局自分も個人で契約をして別の回線を使っていた。寮外のドイツ人学生や同時期にドイツ内の他の大学にHUSAで派遣されていた学生の話聞くに、このようなケースはドイツでも稀なようだ。

寮の部屋は音が通りやすく、周りの部屋や外の音が思いのほかよく聞こえた。自室で不必要に大きな音をたてないように気を付けたし隣人の生活音で困る事も無かったので他の住人と衝突することは無かったが、週末や学期末に寮内で盛大に羽目を外す住人たちがおり、夜中の大音量の音楽や叫び声で困ったことはあった。

また日本で大学の勤める保険に入ったものの、ドイツでは現地の保険会社との契約を求められ、結果的に約9万円を余分に払うことになった。生活費が然程かからなかったので払えない額ではなかったが、日本で入った保険と補償内容が重なるだけに無駄な出費に感じた。

滞在地のオスナブリュックは、大学のある中心地は店も多くそれなりに人通りも多いが、観光客が訪れるような土地でもないので最低限荷物に気を配っていればスリや盗難の心配は無かった。治安は日本とそれほど変わらないように感じた。

日本からの留学生が注意しなければならないのは日曜日と祝日である。殆どの店や会社が休業し、バスや列車の本数も極端に少なくなる。祝日は当然日本のものと違うため、事前によく把握しておく必要がある。特にキリスト教行事に基づく祝日の場合、州内の主流宗派の違いで州によって祝日の期間が異なる場合もあるので注意しなければならない。

様々な生活様式の違いはあったが実際に生活してみれば一月もしない内になれることができ、大きな問題も起こすことなく無事に終了する事ができた。